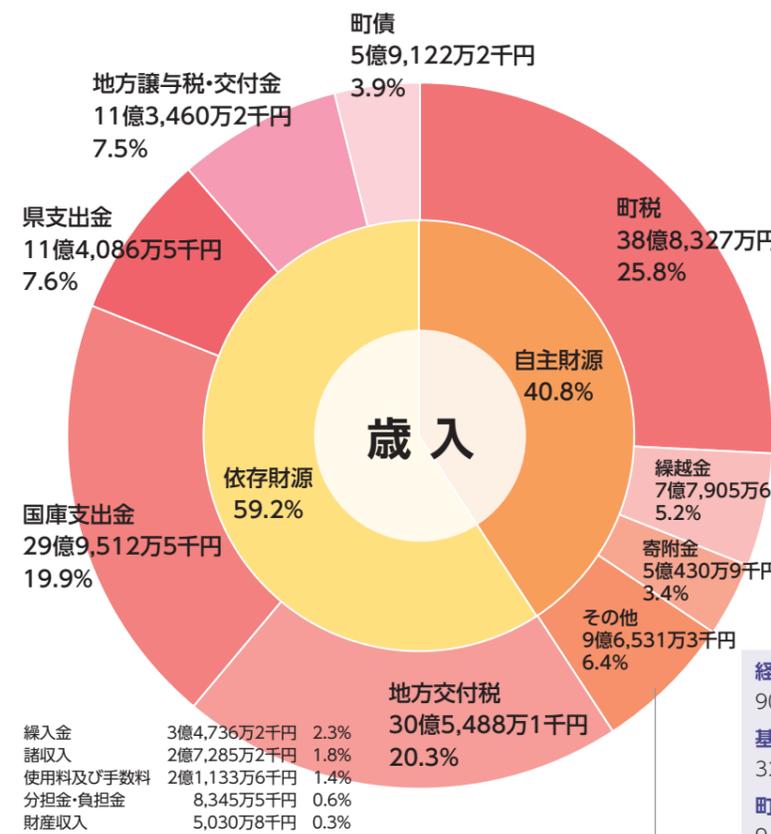


# 令和4年度決算報告

令和4年度の決算が、令和5年9月定例議会で審議され、9月22日（金）の本会議で認定されました。一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額150億4,864万3千円（前年度比1.9%減）、歳出総額142億3,337万8千円（前年度比2.3%減）となり、形式収支は8億1,526万5千円の黒字でした。今後も物価高騰などの経済状況やコロナ終息後の社会情勢を見据えながら、増加し続ける社会保障費や公共施設などの老朽化による更新工事など財政需要の増加に対応するため、事業の選択と集中を徹底していく方針です。

## 歳入 150億4,864万3千円



## 町民一人あたりの決算

収入合計	404,707円	支出合計	382,782円
町税	104,434円	議会費	2,840円
町民税	50,295円	総務費	74,918円
固定資産税	43,323円	民生費	149,780円
軽自動車税	3,186円	衛生費	42,088円
町たばこ税	7,630円	労働費	566円
繰入金(貯金の取崩し)	9,342円	農林水産業費	3,416円
国庫の補助金	111,230円	商工費	788円
地方交付税など	112,669円	土木費	26,174円
町債(借入)	15,900円	消防費	12,436円
その他	51,132円	教育費	41,766円
基金残高	87,686円	災害復旧費	1,193円
町債残高	254,500円	公債費	26,817円
その他	51,132円	その他	12,436円

※令和4年4月1日現在の人口：37,184人で計算

経常収支比率	90.9% (対前年度比 1.6ポイント悪化)
基金残高(町の貯金)	32億6,050万9千円 (対前年度比 4億8,320万1千円増)
町債(町の借入)	94億6,332万円 (対前年度比 3億7,239万4千円減)

会計名(事業名)	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	43億9,803万円	43億2,877万6千円	6,925万5千円
後期高齢者医療特別会計	5億584万2千円	4億8,150万円	2,434万2千円

会計名(事業名)	区分	収入	支出	収支差引額
上水道事業	収益的収支※	8億3,233万2千円	7億7,317万3千円	5,915万9千円
	資本的収支※	7,452万1千円	3億3,011万6千円	△2億5,559万5千円
流域関連公共下水道事業	収益的収支※	9億4,640万8千円	8億5,691万8千円	8,949万1千円
	資本的収支※	4億8,986万3千円	8億1,267万8千円	△3億2,281万5千円

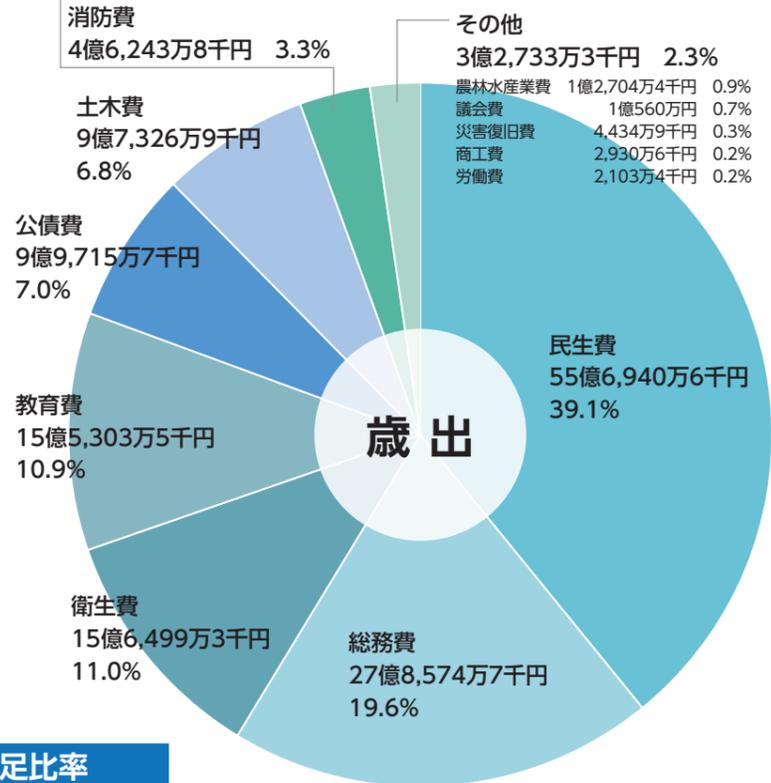
※ 収益的収支：上下水道料金などの収支、資本的収支：施設建設などの収支 注：端数処理の関係上、歳入歳出(収入支出)の額と差引額が一致しない場合があります。

## 前年度比について

前年度との比較において、歳入の減額は、令和3年度に実施された子育て世帯への臨時特別給付金給付負担金を含む国庫支出金が7億5,419万1千円減となったことなどによるものであり、歳出の減額は、子育て世帯臨時特別給付金、住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金などの減で民生費が前年度比5億7,848万3千円減となったことなどによるものです。

なお、財政構造の弾力性を表す指標である経常収支比率は、物価高騰などに伴う物件費の増や地方債償還額(町の借金返済)の増などにより前年度から1.6ポイント悪化し、90.9%となりました。

## 歳出 142億3,337万8千円



## 令和4年度の主な事業

- ◆総務費**
  - ふるさと宇美町応援寄附事業 3億2,928万4千円
  - 地域コミュニティ支援事業 6,941万円
  - 地域交通環境整備事業 1,894万6千円
  - オンデマンドバス運行事業 6,117万1千円
  - 生活応援地域商品券事業 1億9,638万円
  - 町内福祉施設等物価高騰対応支援事業 219万2千円
  - マイナポイントプレミアム商品券事業 1億2,461万1千円
- ◆民生費**
  - 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 1億7,247万円
  - 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業費 2億1,224万8千円
  - 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業 4,370万1千円
  - 出産・子育て応援事業費 3,160万9千円
  - 特定教育・保育施設運営事業 8億5,464万8千円
- ◆衛生費**
  - 母子衛生事業 4,133万3千円
  - 新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億234万2千円
  - ごみ処理事業 5億8,095万7千円
- ◆労働費・農林水産業費・商工費**
  - 働く婦人の家運営事業 2,103万4千円
  - 農業基盤保全事業 4,103万6千円
  - 商工業活性化事業 913万3千円
- ◆土木費**
  - 道路橋りょう維持管理事業 1億7,319万1千円
  - 都市計画街路整備事業 1億2,000万円
  - 公園管理・整備事業 1億4,938万3千円
- ◆消防費**
  - 消防団活動支援事業 6,078万9千円
  - 防災対策事業 1,679万1千円
- ◆教育費**
  - 就学援助事業 5,394万4千円
  - 幼稚園施設等利用給付事業 1億5,827万3千円
  - 中央公民館・住民福祉センター改修事業 2億1,521万9千円
  - 物価高騰対応給食費減免事業 7,592万3千円
- ◆公債費 9億9,715万7千円**
- ◆災害復旧費 4,434万9千円**

## 健全化判断比率と資金不足比率

財政の健全度を測る4つの指標である健全化判断比率と公営企業の資金不足比率について、算定結果を下記のとおり公表します。令和4年度決算に基づく町の健全化判断比率などはいずれも早期健全化基準(=黄信号)以下の水準を保っています。

	宇美町	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	-(※1)	13.81%	20.0%
連結実質赤字比率	-(※1)	18.81%	30.0%
実質公債費比率	7.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-(※2)	350.0%	
資金不足比率	-(※3)	20.0%(経営健全化基準)	

※1 黒字のため「-」と記載しています。  
 ※2 将来負担すべき額より充当可能財源が多かったため「-」と記載しています。  
 ※3 資金の不足がなかったため「-」と記載しています。



▲オンデマンドバス「のーと宇美」